

西尾勝 著作目録

凡 例

一 この著作目録には、東京大学法学部を卒業して以来の私の著作・講演録・談話録をできるだけ漏れなく収録することにした。ただし、審議会等の議事録・会議録に記録されている私の発言は原則として収録しなかった。

二 この著作目録では、これらの著作・講演録・談話録を原則として刊行年月順に配列した。ただし、新聞に掲載された著作等の場合には、刊行月日と朝刊・夕刊の別まで表示した。また、当該刊行物の奥付に表記されている刊行月と実際の刊行月（正確には、著者である私に送付されてきた月）との間に大きな間隔がある場合には、実際の刊行月の位置に配列した。さらに、奥付等に刊行月日がまったく表記されておらず、いまとなつては、実際の刊行月を推定するすべもないものについては、「刊行月不詳」と注記した上で、当該年の冒頭に配列した。

三 著作目録中の表記の仕方は次の通りである。

①単行本、雑誌、新聞、講演録、報告書、パンフレットなど独立の印刷物名は『 』で示す。英文のものは、
・ で示す。

②共著、編著、共編著、訳書、講演録などの別は『 』の直後の（ ）内以示す。したがって、『 』の直後に（ ）の注記のないものはすべて私の単独著作である。

③独立の印刷物の中にその一部として収められた文章については、いきなりその標題を示すこととし、『 』を付すことを省略した。なお、英文のものについては、
・ で示す。

④誌上の対談、座談会、紙上のインタビュー記事などの別は標題の直後の（ ）内でその旨を示す。したがって、標題の直後に（ ）の注記のないものはすべて私の単独著作である。

⑤当該論文・講演録等の標題の直後に（再録）とあるのは、すでに別個の印刷物で発表された著作等の再録であることを示す。

⑥当該論文・講演録等で、後日これを拙著『権力と参加』、『行政学の基礎概念』、『未完の分権改革』に再録したもののについては、末尾に、↓記号に続いて再録先を示しておいた。